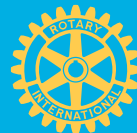




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ
奉仕の和を拡げよう**

会長／渡邊裕久 幹事／高橋理佳

プログラム

- 本日
年忘れ家族会
- 次週予定
通園児童との交流例会

結婚記念日
山本 讓 二

No. 2723
第22回 12月7日

出席報告

前
例
会

会員総数……………38名
出免会員……………6名
出免出席……………5名
基準会員出席……………16名
出席率……………56.76%

前
々
会

第19回 11月9日

欠席会員……………13名
内メイクアップ……………3名
修正出席率……………72.22%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告 ……………

- 11月21日、留萌市中央公民館小ホールに於いて開催された、留萌地方特別支援教育連盟南部ブロック合同学習発表会に出席して参りました。
- 11月24日第6回定例理事会を開催し、11月会計報告と11月12月の例会プログラムを承認しました。例会プログラムの中で、12月のクリスマス家族会並びに12月第2例会の通園センターの子供たちとの交流例会の検討。また、滝川RCよりお願いされた例会卓話について協議致しました。
- 留萌ライオンズクラブよりクリスマスパーティーの案内を頂きました。日時は12月16日会場は富丸です。

📋 幹事報告 ……………

- ・妹背牛RCより創立50周年記念式典並びに祝賀会出席に対するお礼状を頂きました。
- ・平成28年度留萌地方特別支援教育連盟主催の南部ブロック特別支援学級合同学習発表会のお礼状を頂きました。
- ・妹背牛RCより12月例会案内、11月会報を受領しました。

👥 委員会報告 ……………

次年度幹事 **阿部 会員**
 次年度よりご連絡いたします。第1回被選理事会を12月14日(水)に開催する予定です。内容は次年度、委員会構成と年度が始まるスケジュールの確認です。都合のつかない方はお早

めに連絡ください。欠席多数の場合のみ、日程の変更をいたしますが、具体的な内容は次週水曜日までにFAXにてお知らせいたします。よろしく願います。

社会奉仕委員会 鈴木委員長

既に皆様には例会プログラムがFAXにて届いていると思いますが、12月第2例会は社会奉仕委員会がプログラムを担当する、地区補助金事業の特別支援の子供たちとその兄弟、親御さんを交えたケーキづくり例会となります。当日は普通例会の12時15分ではなく、3時30分からの例会になります。場所は留萌市幼児療育通園センター(元町5丁目)で開催されます。後ほど皆様にFAXにて出欠を取らせていただきます。また、当日は駐車場が数少ないので乗り合いでお越しください。また、当日例会場までの足が無い方は、委員会で送迎いたします。FAXに送迎希望と書いていただければお迎えに上がります。

当日の参加者は子供、兄弟、親御さん、通園センター職員あわせると60名を超えますので、クラブ会員が少ないと例会になりませんので出来るだけ多くの方の出席をお願いします。当日は1時間弱の例会です。よろしくおねがいします。

ニコニコBOX

- 小杉様本日は卓話ありがとうございます。
渡邊会長
- 商工会議所ニュースの会員紹介ページに載りました。
高橋幹事
- 11月19日留萌市小平会のステージで小平のトリを務めました。
高田会員
- 長女の梨湖が推薦で富良野看護学校に受かりました。次年度クラブ理事任命ありがとうございました。
青山会員

前 回	360,600円
今 回	8,000円
累 計	368,600円

プログラム

「増毛山道の話あれこれ」

特定非営利活動法人 増毛山道の会

理事 小杉 忠利様

本日は留萌ロータリークラブの例会にお招きいただき誠にありがとうございます。留萌ロータリークラブさんのホームページを見させていただきましたが、昭和36年創立以来55年間、奉仕活動に尽力されており、大変ご苦労様です。

実は増毛山道は歴史もありまして、約160年前に作られた道でございます。本日、皆様に2種類の資料をお持ちしました。増毛山道あれこれと書いた冊子とホームページをコピーしたA4の資料です。このホームページは増毛山道の会の事業を紹介したり、諸事業への参加案内も載せております。ホームページ左側には増毛山道の会設立趣旨と定款とか、会員登録のページ、行事予定掲示板、増毛山道のお話あれこれ、増毛山道地質ものがたり、報道記事などを掲載しております。

活動として、一般募集のトレッキング事業を7回ほど開催しており、だいたい1回当たり20名位の参加者募集で、すぐに満杯になってしまいます。6月に活動予定を決めて発表すると、道新さんとか、留萌振興局のホームページとリンクしておりますが、やはり道新さんの掲載が一番きまして、道心の知ってあれこれという欄がありまして、全道版に載るとすぐに7回から8回の開催がすぐに一杯になってしまいます。昨年、150名ほどのトレッカーの方々を増毛山道にご案内いたしました。その内の25%の方がリピーターでございます。やはり1回来て面白くなかったら絶対誰も来ないのですが、ガイドが付いて色々な歴史の説明を聞いて歩くのですが、それなりの魅力があるという事だと思います。本日たまたま皆様にお話するのに、今年の10月16日に増毛山道の32kmが10年かけて完成しましたので、皆様の前で紹介できることになりました。

増毛山道の全長は32km、丁度留萌ー増毛間を往復する位の距離ですが、標高の一番高い所で

は1000mにもなります。ここで道を見つけて、笹狩りをして、幅2～3m位で繋げる作業をしていました。エリアとしては増毛町と石狩市の幌に跨っておりますので、石狩市の背後地が札幌市ですので、トレッカーの方達も札幌圏の方が多く、幌から歩いて別荘に降りるコースが繋がりましたので、次年度から石狩市や増毛町と協議をしながら開催していく事になるのではと思います。160年前からの一種の古道ですので、増毛山道あれこれの冊子にも書いております。

この増毛山道あれこれに書いてあるものは、細かくは説明できませんが、目次を見ていただければわかる通り、増毛山道って何？、増毛山道を作った伊達林右衛門、ロシアと日本・そして山道、これだけかかった！お金と期間、武好駅通と昔の郵便配達、幕末事件・増毛山道物語、北海道で一番高い所にある水準点、山道に今も残る電柱などが掲載されています。

増毛山道は先に話した通り、160年前に広い蝦夷地に散らばる漁場同士を行き来するために整備された道路です。そして、この増毛山道を作ったのが伊達林右衛門です。現在の増毛山道の会の会長が伊達林右衛門から数えて14代目の直系になる伊達東でございます。この伊達林右衛門はマシケ場所の請負人で、当時蝦夷地の漁場は場所請負制度を取っており、松前藩から漁場を請け負って営業する形態がとられ、アイヌを刺激して水産物などを北前船で関西や北陸へ運んで大層な利益を出していたみたいです。またロシアが蝦夷地にチョッカイを出しており、松前藩では松前から稚内までの区間を場所請負人に儲かっているのだから道を作りなさいと依頼したものです。

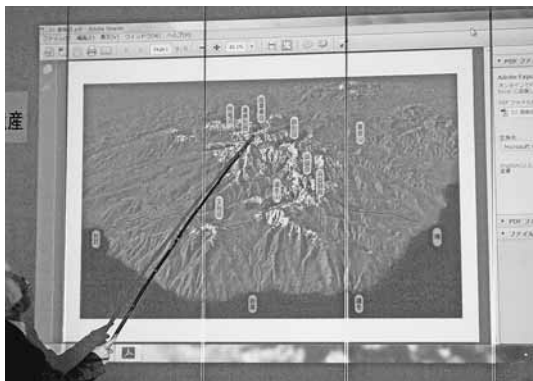
増毛山道には武好駅通という建物があり、この駅通というのは、郵便物を運ぶ人がこの駅通で増毛や浜益から来た郵便物を交換して、また戻っていくという使われ方をしました。また、宿泊施設としても使われ、馬のレンタルもしていました。この駅通は道内に300か所位あったのではないかとされています。明治22年頃には、鯨番屋同士の連絡や情報網として雄冬山の標高1000～1200mの所まで電信柱をたてて通信



線を張って、石狩からの情報が入るようになりました。電報の様な手段で、昔はモールス信号で送ってそれを翻訳していました。この駅通も山道そのものが時代と共にあまり使用されなくなり、道が荒廃した結果、昭和16年にこの武好駅通は廃止されました。

私も土木屋の一人として、測量に携わっております関係で、この増毛山道に関わる事になりました。この測量ですが、水準点というものがあまして、高さを求める水準測量において基準となる点の事でございます。国土地理院で管理しているものですが、これがすでに明治40年ですが、増毛山道の標高1000mの所に2キロおきに埋設されております。これは花崗岩で出来ておまして、重さは140キロ位あり、これをここまで持って行って埋めたのだと思いますが、現在は遺産として残っております。この1等水準点は用水路などを造る際に重要なものでございます。北海道において水準点は3300か所ありますが、その中でも最も高い位置にあるとされているのが、石狩管内の浜益御殿頂上付近にある一等水準点8462です。増毛と浜益を結ぶ増毛山道沿いには、明治40年に17個の水準点が設置されたが、道のりが険しくあまり使用されなくなり、水準点の存在その物が忘れ去られていきました。

この増毛山道を作るにあたって伊達林右衛門が私費を投じて山道を開通させるためにかかった費用は合計1310両、現在のお金にして1億7千30万円です。幕府のご用達であり漁場を請け負っている立場上、私費で受けざるを得ない状況でした。この山道を開削するために、秋田県



から山道開削経験者を呼び、地元のアイヌ人とニシン漁が終わった後の出稼ぎの若者を雇い入れて、14里1丁(約54km)の山道開削に取り掛かりました。工期は1857年5月に開始し、増毛側と浜益側の両方から個別に開削にあたり、人夫46人で6月13日までの56日間ほどで工事を終えたようです。

増毛山道の会では事業として、トレッキングを年に7~8回開催しておりますが、これはだいたい土曜日に開催しております。朝6時とか7時に別荘、岩尾などに現地集合してもらって行っております。雨風などの対応に追われますと事務局も大変ですので、各自で出席していただいておりますが、今まで中止になった事はございません。ほとんどの人が山歩きの好きな人ばかりで、雨の時などは、皆さんに了解を得てコースを変更して開催する事もございます。

一番長いコースでは21kmもありますので、大変疲れます。しかし、歩いた方はとても穏やかな顔で、うれしそうな顔で帰ってきます。大体50~60歳の方々が多く参加しています。このトレッキングは登山と違ってガイドが付きますので、色々な話が聞けます。私たちもコースを維持する為に、3mもある笹の伐採も行います。この笹は1㎡に70~80本生えておりますので、伐採は大変な作業になります。道を見つけて笹を刈りながらの作業です。10年かかってやっとつながりました。

今、厚田では道の駅を作っており、平成30年に完成予定ですが、石狩市は市民が山などの自然を利用するのが少ないものから、田岡市長は道の駅の一つの内容として、山道を発信し

ていく事を考えております。昨年と今年は全面的に協力をいただき、今年は職員の方々にお手伝いをいただき、勤務時間内の笹狩りのお手伝いをいただきました。消防署員の方々ですが、若い体力のある方々のお手伝いでしたので、大変助かりました。お陰様で今年の10月16日に全面開通いたしました。来年度からはトレッキングのコースを増やせそうです。今までは11km、16kmと21kmのコースの3コース位でしたが、これからは全面開通いたしましたので、増毛から浜益まで行く事が出来ます。途中で引き返す事がなくなりました。ですから、コースも色々な案が考えられます。この山道を含む場所は暑寒別天売焼尻特定公園ですので、例えば笹狩りをするにも昔の道を復元するにしても、道の許可を貰わなければなりません。ですからこの10年間色々な許認可を頂くため、大変苦労いたしました。初めの3年は取っ掛かりが大変でしたけれども、ある程度実績を付けていくとスムーズに進むようになりました。

道の始まりはきつねやタヌキ、クマの歩く道です。その動物がいなくなると、人は別な山へ移動しました。その後、畑作や稲作が伝わり、余った作物で魚や織物と交換し、村と村を繋ぐ道が作られ、道の重要性が増しました。明治に入り鉄道、自動車が増えまして山の向こう側とこちら側との繋いでいた道は途端に寂れてしまいました。そういった道がこの蝦夷地にはかなりあります。そういった残された増毛山道を遺産として伝えていきたいと思っております。これからは更につながった事によって私たちの活動の幅が増えていくと思っております。

これからも私たちの会をご理解いただいて応援をよろしくお願い致します。本日はお呼びいただきありがとうございます。